

まちの環境チェック

平成 20 年度の
調査結果発表！



■問い合わせ先 環境課 (☎ 82-1144)



大気環境

市や県では、降下ばいじん量、硫黄酸化物、浮遊粒子状物質、窒素酸化物および光化学オキシダントについて常時調査・監視しており、その年次推移は図1～4のとおりです。年平均値は、前年度より減少しているものもありますが、長期で見るとほぼ横ばいで推移しています。

二酸化硫黄、二酸化窒素は、竜王中学校、須恵健康公園および市役所の3局とも環境基準に適合しています。浮遊粒子状物質は、長期的評価には3局とも適合していますが、短期的評価には竜王中学校で適合していません。光化学オキシダントは、須恵健康公園のみが測定局ですが、環境基準に適合していません。これらの大気汚染の要因としては、工場・事業所や自動車など人為的なものの他、黄砂等の自然起源によるものや気象条件の影響が考えられます。特に近年、季節や気象条件によっては、光化学オキシダントや浮遊粒子状物質の測定値が一時的に高くなることもあります。山陽小野田地域における光化学オキシダント注意報の発令は、20年度には一度もありませんでしたが、引き続きこれらの大気環境の監視測定を行い、注意していく必要があります。



水質環境

水質汚濁は、主に家庭や工場・事業所からの排水が原因ですが、厚狭川や有帆川では約50%が生活系、25%が産業系によるものです。

市では、海域、河川等で毎年、定期的に水質の調査を行っており、図5～8は水の汚れ具合を示す水質の年平均値の推移です。海域はCOD、河川はBODで表します。

海域、河川とも年によって若干の増減はありますが、長期的にはほぼ横ばいで推移しています。平成20年度は各地点で環境基準に適合しています。



用語の説明

- 降下ばいじん** 燃料等の燃焼に伴って発生するばいじんや土壌の舞い上がりによる粉じん等のうち、雨や自重によって地上に降下する比較的粒径の大きなものの総称です。
- 光化学オキシダント** 光化学スモッグを形成する物質のうち酸化力の強い物質を指す言葉で、目の痛み等の原因になります。
- 環境基準** 人の健康の保護および生活環境の保全のうえで、維持されることが望ましい基準として国が定めたものです。
- 長期的評価、短期的評価** 国が定めた環境基準の適合状況の評価方法です。短期的評価では、それぞれの測定した時間、日で評価しますが、長期的では、一定のルールに基づき一部データを除外して評価します。
- COD** ショーデー 海域の汚濁を示す指標で薬品による酸素消費量から求めます。
- BOD** ヒーデー 河川の汚濁を示す指標で微生物による酸素消費量から求めます。

